



# Via Latina 22

## 2021年9月-10月 303号

### 総本部よりのお知らせ－マリア会

### 韓国地区での初誓願式

John Shim士は、2021年7月5日、韓国地区マリアニストセンターで、最初の韓国人司祭である聖アンドレ・キムを記念するミサの中で、初誓願を宣立しました。式典ミサは地区長のDominic Park師によって司式されました。



誓願式後のJohn Shim士 韓国地区の数名の会員に囲まれて

Covid-19感染症のためにマリアニストセンターに出席できる人数に制限がありましたが、出席者は韓国のマリアニスト家族全体、すなわち信徒マリアニスト、FMI修道女とSM修道者を代表するのに十分な人たちでした。この初誓願式のミサは、マリアニスト家族を一つにする聖霊に満たされていました。

修練長のChris Wittman師は出席出来ませんでした。彼の存在はUSAから送られた彼の祝福のメッセージを通して感じられました。ミサの終わりにDominic Park師にとって読まれたメッセージの中でChris Wittman師が述べたように、韓国マリアニストは、John Shim士が信仰に満ちたカトリック信者であり、共同体と一緒に生活するために素晴らしい兄弟である、とすぐに分かっていました。

彼はアメリカで修練期を全うした2番目の韓国人マリアニストです。彼の初誓願を通して、この地区の将来はより明るいものとなるでしょう。

---

## トーゴ地区での終生誓願式

2021年9月11日（日）、トーゴ地区の3名の兄弟たち；David Simtcha BOKOMA士、Prosper Posobagnindou MEGUEMA士、そしてDavid Bakolayida MIGNOUNA士が、カラ教区、ニャムトゥーグーのファチマの聖母小教区でマリア会の終生誓願を宣立しました。ミサは、マリアニスト家族メンバー、司祭、修道者、トーゴの各地から集まった誓願者の親族と友人たちの出席の下、地区長、Jonas KPATCHA師が20名もの共同司式司祭と共に司式しました。



左より：David Mignouna士、Prosper Meguema士、David Bokoma士

地区長はこの3名の兄弟の誓願を受け入れました。彼はその説教の中で次のように指摘しました：“修道生活という冒険に乗り出すのは、神のみ言葉を味わった者たちだけです、、、人は間に合わせてマリアの子、イエスの友人、そして神の奉仕者になれるものではありません。”

この誓願式の後、参列者の皆さんはささやかな祝賀会に招かれました。

---

## スペイン管区での終生誓願式

9月12日、マリアの御名の祝日に、Wolph Paul士がマリア会の終生誓願を宣立しました。素晴らしい喜びに満ちた誓願式がバレンシアのマリアニストスクールの聖堂でとり行われましたが、Wolph士

は過去8年間この学校で生活し、働いてきました。管区全体からの多くの同僚たち、それに現地マリアニスト家族の多くの友人たち、マリアニストシスターたち、そして信徒マリアニスト共同体のメンバーが誓願式に参列しました。式典は記録され、インターネットでライブで配信されたので、ハイチの彼の家族もこの式典に参加出来ました。



Wolph Paul士と管区長のIñaki Sarasua師

Wolphは36年前にハイチで生まれ、2012年に彼はそこで初誓願を宣立しました。1年後ハイチのマリアニスト共同体が閉鎖された後、彼はスペイン管区に入り、そこで養成過程を終了しました。新学年の初めに、彼はシウダート・レアルのマリアニスト共同体に配属されました。

---

## メリバ管区での終生誓願式

マリア会の保護の祝日であるマリアの御名の祝日は、マリア会においてはまた伝統的に修道誓願宣立の日となってきました。今年、メリバ管区は喜びのうちに2名の会員、Patrick Cahill士とAndrew Santoriello士の終生誓願宣立を祝いました。誓願式はニューヨーク、ミネオラのシャミナード高等学校で行われました。メリバ管区の修道者、アメリカ管区、汚れなきマリア修道会、地域司教区の代表者、そして私たち会員の家族と友人たちが参列しました。学校の講堂に集まった約180名ほどの人たちの中に、Andrew士が教師をしているシャミナード高等学校と、Patrick士が教えているケレンバーグ・ミモリアル高等学校から多くの生徒と卒業生が来ていました。これらの生徒の多くは、修道者の召命を考えているソダリティやファウスティーノ・クラブのメンバーでした。

ミサ聖祭、誓願式、そしてそれに続く祝賀会は、マリアニストカリスマの大きな特徴である家庭の精神を分かち合い、それを証しする機会でした。そしてまた管区長、Timothy Driscoll士が誓願式の導入で述べたように、この誓願式はマリア会の非常にユニークで重要な混合構成という賜物を証しし祝う大切な機会でした。彼はユーモアを交えて次のように述べました：教区司教である大司教様、多くのマリアニスト司祭と教区司祭が出席されているにも関わらず、この二人の会員の終生誓願は、私たち共通のマリアニスト召命と、私たち全員が分かち合っている兄弟としての生活の絆に対する証しのしるしとして、信徒修道士である管区長によって受け入れられます。



左より：管区長のTimothy Driscoll士、Andrew Santoriello士、Patrick Cahill士、副管区長のThomas Cardone師

ブラザーPatrickとAndrewが若者たちの教育におけるその任務を継続され、自分たちの召命において成長し続けられるよう、私たちは神さまの溢れる祝福をお祈りします。

## スペイン管区での司祭叙階式

2021年7月10日、海と光に囲まれて、スペイン管区Alejandro Borrella Romero師の司祭叙階式が彼の生まれた都市カディスで行われました。その都市のRafael Zornoza司教によってミサが司式されAlejandroは叙階されました。コロナ感染症に起因する障害にもかかわらず、マスクを着けて叙階式は執り行われました。

ミサ聖祭の第一朗読はイザヤの召命に関するもので、第二朗読は、私たちが土器に入れて運ぶ宝のような、コリント教会への第二の手紙からのイエス・キリストについての告示を含むものでした。福音は聖ルカによるイエスの誕生物語でした。Alejandroはこれらの朗読を選ぶことで、彼は自分の司祭職の理解の仕方を表明したかったのです：つまり、それはマリアと結ばれてキリストを世にもたらすことです。



Zornoza司教様による接手を受けるAlejandro Borrella師

司教はその説教の中で私たちのカリスマに何回も言及して（創立者の言葉、総会や生活の規則からのいくつかの引用）、世界にキリストを受肉させる具体的方法を示しました：すなわち、信仰と個人的な忠実さによって、深い神体験によって、言葉を薄めることなく説くことによって、また、最も貧しい人たちの中で、若者たちの中で、信徒の世界とその文化と対話しながら、いつも神に奉仕することによって。一言で言えば、司教の説教は共同体と教会的出会いについての心のこもった理解しやすいひと時でした。

---

## ブラジルでの司祭叙階式 （スペイン管区）

2021年7月31日、聖イグナチオ・ロヨラの記念日に、ブラジル・バウルのマリアニスト共同体はスペイン管区と共に、バウルのサンセバスチアン小教区でのミサ聖祭の間に、Victor Augusto Ferreira de Aguiarの司祭叙階式を祝いました。



Victor Ferreira de Aguiar師 Ricci司教様とバウルのマリアニスト共同体の数名の会員に囲まれて

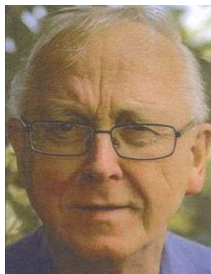
ノバ・フリブルゴのLuiz Antonio Lopes Ricci司教が叙階式を執り行いました。Ricci司教はバウルの嘗ての聖職者の中の一神父であり、彼が神学生であった時、神学校で教えていた何人もの私たちの会員の生徒でした。事実、司教はブラジルのマリアニストの大変身近な友人です。この親近感は説教全体を通して、また叙階式全体を通して感じられます。単純さ、感謝の気持ち、そして親近感の手掛かりは式典を通して明らかでした。マリア会員のJavier Gonzalez師とPaco del Barrio師は、他の司教区司祭のメンバーとVictor師の友人たちと共に共同司式をしました。バウルのマリア会共同体院長、Rogélio Núñez士が叙階への呼び出しを行いました。Manuel Álvarez士が新司祭にストラを掛けました。

Covid-19によって余儀なくされたバウルでの予防措置によって、式典への参列者はVictor師に近い人々に制限されました：すなわち、両親、親戚、友人、FMIのメンバー、3つの都市の信徒マリアニスト共同体のメンバーたちです。この叙階式にあたって世界のマリアニストの多くの人たちが祈りのうちにバーチャルに1つに結びつく機会が、小教区の技術者たちの貴重な助けを通して可能になりました。

---

## マリア会Leo Müller師がスイス地域共同体の責任者として任命されました院長

スイスの地域共同体の責任者、Roland Gruber士は2021年9月11日にその2期目の任務を終えました。



会員たちから表明された意見をベースにして、総長評議員会はLeo Müller師にこの責務を受諾されるよう要請しました。Leo師は既に長期の行政経験があり、人間的、霊的資質の全てをこの任務に注ぎ込みます。私たちは彼を特徴づける寛容さと信仰の精神を持ってこの任務を受諾されたLeo師に感謝します。

同時に6年間に渡り素晴らしい仕事を成し遂げたRoland士に対して、私たちと会員たちの感謝を申し上げます。この共同体は小さいですが、創立者の生前の2番目の創立の地であるスイスで意義深い証しを提供し続けています。60年以上前にスイスによって設立されたトゴ地区との絆は、今日、力と励みとなっています；蒔かれた種は多くの実を結んでいます。



他の実りは、ヨーロッパと築かれた絆、あるいはマリアニスト家族と共に創られた絆を通して兄弟的生活を通してもたらされるでしょう。会員たちと新たに任命されたLeo師の意向のために祈ります。

---

## マリア会Florian Royer-Chabot師、第2期目のカナダ地域共同体の責任者に任命



2018年10月、カナダ地域共同体の設立にあたり、Florian Royer-Chabot師がその責任者として任命されました。彼は兄弟たちのため、また、この地域共同体の善のために、大きな配慮をもって自分の任務を果たしてきました。

それ故、総長評議員会は2021年10月2日に始まる第2期3年の任期を兄弟たちの要望に応えるためFlorian師の受諾を要請しました。私たちはこの任務継続の要請を寛容さを持って承諾されたFlorian師に感謝します。会員たちは、この地域の人々に良く知られて評価されており、この人々と多くの絆を構築してきました。アリアンス・マリアルとMLCは大変献身的で、積極的に会員たちの証しと存在をサポートしています。

私たちはFlorian師と全ての会員たちに私たちの祈りと兄弟的支援を約束します。

---

## 世界マリアニスト祈りの日 (2021年10月10日)

今年もまた、世界マリアニスト祈りの日に、世界各地からマリアニストがバーチャル、あるいは現場に出席して祈るため一緒に集います。今年の式典は2021年10月10日、日曜日に行われます。いつものように祈りは、全ての枝、国そして文化圏のマリアニストを霊的に一つにし、私たちの母マリアにその子供たちのために執り成してくださるよう祈ります。一緒になって私たちはナクル-ケニア（東アフリカ）のスブキアの聖母マリアの名の下にマリアの慈愛のこもった保護を懇願します。この名前は

スブキア、あるいはケニアの神の母マリアの村の信者の特別な信心に係るもので、この村に、信者たちは平和、和解、そしてあらゆる癒しを求めて長年集まってきました。



[www.marianist.org](http://www.marianist.org)サイトでスブキアの聖母マリアの姿と聖地について興味ある歴史の概要を参照出来ます。それは非常に興味深い物語りで、聖なるマリアの注意深い保護的な眼差しの下に身を置いた人々の信仰心と信頼心を表しています。スブキアはマサイ語（ケニア）で「高い土地」を意味し、その地理を良く描写しています。それは2つの極（北極と南極）が交わる場所であり、祈りの雰囲気と澄みきった自然は神との深い係りに適しています。

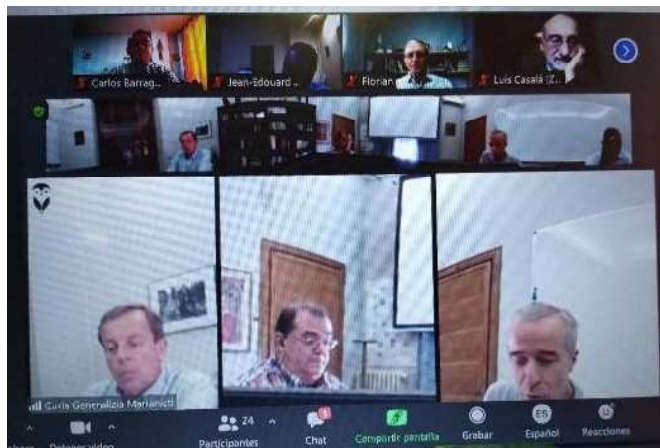
今年は、ご存知のように、Covid-19感染症の猛威が止まっています。それで、今は“マリアニスト世界”全体が祈りの中に一致し、この災害に対して力と希望と終息が与えられるようおとめマリアに懇願する非常に良い時期です。この熱い祈りにおいて、スブキアの聖母マリアの姿と伝統を通して、ケニアの人々と一つになりましょう。

既に言及したwebsiteはこの年ごとの行事を祝うための幾つかの提案をしています。私たちはあらゆる可能な方法でこの機会を祝うよう全ての共同体の皆さんにお勧めします。例え他の共同体やと物理的に合流出来なくても、私たちは皆さんが祈りの中で霊的にあるいはバーチャル的に一致するよう願っています。

スブキアの聖母マリア、私たちのために祈りください！

## 行政単位上長オンライン会議（2021年7月1日～2日）

マリア会の全行政単位の上長とゾーン議長は、7月の始め2日間、総長評議員会とオンラインで2、3時間の事務レベル会議を行いました。当初この時期に計画されていたこの総指導者会議（GLA）は、Covid-19のために2022年7月に延期を余儀なくされました。このバーチャル会議は、これ以上1年も待つことが出来ず、あるいは準備的な考察が歓迎されていた一定のテーマについて皆で検討するのを可能にしました。時差の関係で、それぞれ1日の会議を、アジアの3つの行政単位と一つの会議、2つ目は他の責任者との会議を設定しました。



会議の冒頭から、私たちの分かち合いによって、行政単位における感染症の非常に深刻な影響について認識するようになりました。この状況に直面し、会員たちと私たちマリアニストの責任下に在る人々を守るために、大きな努力を尽くした上長と事業体の責任者の皆さんに感謝します。私たちは既に発生したかなりの数に及ぶ人たちの罹患や死亡事態を大変遺憾に思うべきではありますが、しかしながら、更に深刻な状況を避けることが出来たのは彼らの行動のお蔭です。また、私たちの様々な国で弱者を支援するために大きな努力もなされました。次の3つの側面は現況に即しています：私たち自身を守ること、最も弱い立場の人々を助けること、彼らがこの状況を乗り越えられるようにすること。



私たちはまた、行政単位、ゾーン、そして総長評議員会がこの数ヶ月間取り組んできた種々テーマについても話し合い、共有しました；すなわち、①行政単位会議の活性化（総長評議員会によって準備され、近く配布される文書についてのテーマ）、②未成年者と弱者の保護に関する行政単位の方針、③会員の初期養成とローマの国際神学校の神学生養成；④世界教育協定、④行政単位の財産の管理に関する種々問題。私たちはまたボルドーのマドレーヌ共同体の状況について手短かに言及しましたが、この共同体はこの重要なカリスマ的場所を生き生きとしたものとして保つために他の行政単位の支援を真に必要としています。従って私たちはこの重要な任務に係る方法を提案しました。

バーチャル会議の限界にも係わらず、私たちは国際協働を強化するためにこの方法は価値があると感じる事が出来ました。来年、ローマで会えるのを期待しましょう。

---

## “ともに歩む教会”に関する世界代表司教会議の準備 (2021年10月～2023年10月)

2年後、2023年10月中に、世界代表司教会議が《ともに歩む教会のため：交わり、参加、そして宣教》というテーマの下にローマで開催されます。これは、教会における生活と宣教のための基本的主題である、教会の統治と意思決定のあり方についての重要な考察のときとなるでしょう。

このテーマに合わせて、しかしまたこれは過去3回の世界代表司教会議の実践でもあったので、長期間にわたる考察と世界中で行われる意見聴取がこの会議に先立って行われます。この準備はそれ自体がともに歩む経験になるでしょう。教皇フランシスの言葉によれば：《ともに歩む教会は耳を傾ける教会であり、それはお互いが聴き合いその中で各々が学ぶべき何かを得ます。信者たち、司教団、



ローマの司教（教皇）、これら全ての人々が互いに耳を傾ける：そして聖霊が諸教会に語る事（ヨハネの黙示 2・7）を知るために、皆は“真理の霊”（ヨハネ 14・17）である聖霊に耳を傾けます。  
 （2015年10月17日、世界代表司教会議の設立50周年記念のため）

**ともに歩む教会のため：交わり、参加、そして宣教**  
**世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会**



注1：教皇庁各省庁、奉獻生活者の会（総長連盟と国際総長連盟、各連盟や協議会）、信徒団体、高等教育機関  
 注2：アフリカ（SECAM）、オセアニア（FCBCO）、アジア（FABC）、中東（CPCO）、欧州（CEE）、ラテンアメリカ（CELAM）、北米（USCCB+CCCCB）



訳：カトリック東京大司教区広報

最初の段階は2021年10月から2022年4月にかけて展開され、地域教会とその地域教会の一部を構成する様々な現実（組織、団体）についての聴き取りに特化します。奉獻生活は様々な方法で貢献出来ます：教区の公式代表を通して、あるいは共同体の自発的参加を通して。その可能性のある私たちの会員の参加は、この経験によって豊かにされ、同時に私たちの貢献や奉獻生活者のそれをこの考察にもたすために、大変望ましいことです。マリアニスト家族としての貢献もまた大きな価値となります。ですから、私たち自身この考察に入るよう地域的に提供される機会に注意を払いましょう。このシノドスの成果ある準備のため祈りましょう。また世界代表司教会議が教会のために豊かな実りを結びますよう祈りましょう。

司教会議のための準備資料（6か国語）と出席者のための手引書（英語）：

[https://www.vatican.va/roman\\_curia/synod/index.htm](https://www.vatican.va/roman_curia/synod/index.htm)

## 私たちのCOVID世界



マリア様、  
あなたは救いと希望のしるしとして私たちの道を常に照らしてください。  
私たちは病人の保護者であるあなたに、十字架の下で揺るぎない信仰で  
イエスの苦しみを分かち合われたあなたに、  
私たち自身をゆだねます。

慈しみ深い母マリアよ、  
あなたは私たちの必要としているものをご存じです、  
そして、あなたがガリレヤのカナに居られたように、  
私たちが必要とする場所におられる、と私たちは確信します。

私たちのため、Covid感染症で病気に罹った人たちのため、弱者のため、  
また亡くなった人たちのために、  
あなたの御子イエスに執りなしてください。

(この感染症の時期に教皇フランシスの祈りに合わせて)

### 最近の総本部通信

- 訃報：18-21号
- 7月12日：マリア会の養成に関する種々トピックス、霊生局長Pablo Rambaud師から3か国語で行政単位評議員会に送付
- 9月6日：2021年マリアニスト連帯基金（MSF）とマリアニスト育成基金（MFF）、財務局長Michael McAward士から3か国語で財務補佐全員に送付
- 9月6日：世界マリアニスト祈りの日-2021年10月10日、マリアニスト家族世界評議会から3か国語でマリアニスト家族全員に送付
- 9月9日：種々養成に関するトピックス：情報と相談、霊生局長Pablo Rambaud師から3か国語で霊生部長に送付
- 9月17日：徳、精錬、聖性；未成年者と弱者の保護のための全般的なテンプレート、総長評議員会から3か国語で行政単位責任者と霊生部長に送付

### メールアドレス変更について

全ての新しいe-mailアドレスは国際名簿2021年-2022年（#76）、  
次の発行版に載っています。